

「愛知県その道の達人」派遣事業 実施報告書

達人 名	田中 誠剛 先生（ 金管楽器の達人 ）	所属	中部フィルハーモニー
実 施 校	岡崎市立夏山小学校		
実 施 日	平成21年10月20日（火曜日）		
実施学年・学級	全学年（40名）		
教 科 等 名	音 楽	単元・題材名	いろいろな楽器に親しもう
授 業 の 目 標	・管楽器にはいろいろな種類があることやその演奏方法を知る。 ・管楽器に触れてみて、音の出し方を試したり、質感を味わったりする。 ・管楽器の本物の音色を味わい、いろいろな曲の演奏を楽しむ。		
授業の実際	1 全校で、ウェルカム演奏をする。 2 金管楽器の達人の紹介を聞く。（教師） 3 達人の演奏を聴く。（達人・助手） 「マウラー12の小品から第1楽章」 4 金管楽器の紹介と音の出る仕組みの説明を聞き、演奏を聴く。（達人・助手） ・マウスピースとホースと漏斗で演奏ができる。 ・トロンボーン、ホルン、チューバの紹介とエーデルワイスの演奏。 5 体験コーナーに参加する。 ・それぞれの楽器を実際に鳴らしてみる。 6 達人の演奏を聴く。（達人・助手） ・「ジュ・トゥ・ヴィ」 ・「ドレミの歌」 ・「赤とんぼ」 7 ジャズの紹介と演奏を聴く。 ・「聖者の行進」 （達人・助手） 8 達人の演奏に合わせてみんなで歌う。 ・「崖の上のポニョ」 9 校歌を一緒に合奏する。 ・1番（児童）、2番（達人・助手）、3番（児童・達人・助手） 10 アンコール演奏を聴く。（達人・助手） ・「八木節」		
児童生徒の感想	・五つの楽器の音がそろっていてきれいだった。 ・チューバは大きくて、頭が入りそうだった。 ・CDのようにきれいな音色でした。私はピアノを習っているのですが、ピアノの達人になりたい。 ・ホルンが昔狩りに使われていたと初めて知った。管が長くてびっくりした。 ・ぼくは音を出すのにやっとで、きれいな音色で吹けないので、もっとまねしていきたい。 ・トランペットは、息が苦しくなって吹けなくなるけど、達人たちは休まないで吹き続けていてすごいと思った。 ・知っている曲が多くて楽しかった。		
教師の感想	比較的身近な楽器なので、興味を持って、説明や演奏を聴くことができた。実演を交えた説明は分かりやすく、低学年の児童も飽きることなく、時間を過ごせた。特に、マウスピースとチューブと漏斗の即席楽器には、驚きと笑顔があふれた。演奏した曲も本当のクラシックと児童に親しみのあるものやジャズなどがうまく交わり、演奏だけでも十分楽しむことができた。本物の音色に触れることができて、授業の目標を十分達成できた。		

